

## 第6回芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会（議事概要）

○日時：令和2年 6月15日（月）13:30～14:30

場所：まなびの館ローズコム 大会議室

出席者：福山市長（代理 総務部参与）

府中市長（代理 建設部長）

広島県土木建築局長（代理 広島県東部建設事務所長）

気象庁広島地方気象台長

福山河川国道事務所長

八田原ダム管理所長

### 【主な議事要旨】

規約の改正について）

（事務局）

（規約の改正について説明）

議題1） 芦田川の減災に係る取組方針（見直し案）について

（事務局）

（資料－2、3により、取組方針の見直し案について説明）

議題2） 芦田川の減災に係る取り組み内容について

（事務局）

（資料－2、3により、取組内容等について説明）

（福山市）

○資料2の1ページに記載のある広域避難計画の策定について、今年度はどのような形で進める考えか教えて頂きたい。

（事務局）

○昨年の台風19号においては、関東で大きな被害がでており、広域的な避難を行う際にさまざまな課題が発生した。国としては広域避難に関する情報を提供することで広島県を含む自治体の広域避難計画策定に向けて参考にしていただきたいと考えている。

(福山市)

○福山河川国道事務所長のお話にありましたように、30年7月豪雨では、芦田川も計画水位を一部超える状態であり、市としては現在、最大想定水位の洪水ハザードマップを作成しているところです。

実効性ある計画とするには、国主導のもと国、県、市、指定地方行政機関・公共機関が一体となって取り組んでいくことが必要であり、宜しくお願いしたい。

(府中市)

○流下能力の検討をされているが、その際に計画高水位を下げ、内水の浸水氾濫がないように検討することはできないか。

(事務局)

○現在、3か年緊急対策として樹木伐採、河道掘削を行っており、今年が最終年度であるが概ね計画どおりに進捗している。なお、平成30年7月豪雨を受けて、現在整備計画の見直し作業を進めているところ。

(広島地方気象台)

○近年、降雨量はあきらかに増えている。今後、中国地方においては洪水発生頻度が2倍になるという予測も出ている。そうした中で減災対策協議会の活動に非常に意義を感じている。関係機関の皆様にはこれからもより一層の協力をお願いしたい。

意見交換)

(事務局)

(参考資料により、全国的な減災対策の取り組みを説明)

(府中市)

○ダム部会の発足について、三川ダム等は洪水調節容量を持っていないと聞いていたが、今後はそれらのダムも洪水調節機能を持つということで良いのか。

(事務局)

○その認識で間違いない。三川ダムは利水専用多目的ダムであるため洪水調節機能がなかった。そうしたダムでも利水者の理解とご協力を頂いた上で、事前放流等を行い貯水位を下げることで、その分を洪水調節に使用する。そのための治水協定を5月29日に結ばせていただいた。

「以下、余白」